

授業科目 発達障害作業療法学

【担当教員名】 永井 洋一		対象学年	3	対象学科	作業
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	○	
【一般目標：GI0】 発達障害児に対する作業療法を実施するために必要な治療理論と原理を学び、子どもと家族の生活に密着した治療目標、治療活動を立案するための基礎的能力を身につける。					
【行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害に対する作業療法の原理と主な治療理論について説明できる。 2. 神経発達学的治療の主な概念が説明できる。 3. 感覚統合療法の主な治療原理が説明できる。 4. 脳性麻痺時に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 5. 学習障害、ADHDに対する作業療法の原理と手法について説明できる。 6. 広汎性発達障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 7. 知的障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 8. 重症心身障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 9. 整形外科疾患、内部障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 10. 神経・筋障害に対する作業療法の原理と手法について説明できる。 11. 発達障害児の療育に関する法律・福祉制度の概要について説明できる。 12. 特別支援教育における作業療法士の役割について説明できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	治療の原理			1	講義
2	治療理論総論（神経発達学的治療理論を除く）			1	〃
3	神経発達学的治療概論			2	〃
4	脳性麻痺の作業療法（1）			2,4	〃
5	脳性麻痺の作業療法（2）			2,4	〃
6	知的障害の作業療法			3	〃
7	感覚統合療法概論			3,5	〃
8	学習障害、ADHDの作業療法			3,6	〃
9	広汎性発達障害の作業療法（1）			3,6	〃
10	広汎性発達障害の作業療法（2）			7	〃
11	重症心身障害児の作業療法			8	〃
12	整形外科疾患・内部障害の作業療法			9	〃
13	筋ジス、二分脊椎の作業療法			10	〃
14	療育に関する法律・福祉制度			11	〃
15	特別支援教育と作業療法			12	〃
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		作業治療学3：発達障害第3版	日本作業療法士協会：編	協同医書出版社	2010・3,200円＋税
参考書		子どもの能力から考える発達障害領域の作業療法アプローチ	小西紀一、小松則登、酒井康年	メジカルビュー社	2012・5,500円＋税
		発達障害をもつ子どもと成人、家族のためのADL	辛島千恵子	三輪書店	2008・3,360円＋税
その他の資料		授業時に配布する			
【評価方法】 出席：10%程度 Minute Paper：20%程度 レポート：20%程度 期末試験：50%程度			【履修上の留意点】 人間発達、小児科学、発達障害作業療法評価学の単位を取得していなければならない		